



申8号 「いわき」「原ノ町」 「統括センターの新設に伴う体制等について」 団体交渉開催！ ②

② 「浜通りエリア」として主な業務を「いわき統括センター」に統合する根拠を明らかにすること。

組合：いわき地区指導センターとしてこれまで業務運営を行ってきた成果や課題を明らかにすること

会社：これまでいわき地区指導センターが企画業務や自治体の窓口を担ってきた。業務実態や規模、立地条件等を総合的に勘案し、いわき地区指導センターの業務はいわき統括センターが担い、浜通りエリア全体を運営する考えである。

組合：原ノ町統括センターに企画グループを設置しない考えを明らかにすること。

会社：原ノ町統括センターへ新たに企画業務を分配すると効率的ではない。いわき地区指導センターでの実績を分けるのは適切ではないと判断した。

組合：いわき統括センター企画グループの業務運営する場所を明らかにすること。

会社：現在いわき地区指導センターがある建屋が、いわき統括センター企画グループの業務運営する場所となる。

組合：今施策における間内改良について明らかにすること。

会社：いわき地区指導センターのテレワークが出来るブースを改良して会議室を増設する。原ノ町駅のバックヤードを整備し、企画業務が行えるよう整備する。今施策ではないが、原ノ町運輸区他区詰所をテレワークや企画業務等を行えるブースに整備する。

組合：他区乗務員詰所がなくなると、仙台運輸区は原ノ町運輸区の詰所で休憩することになる。食事スペースが狭くなるため、間内改良等を行うこと。

会社：意見は承る。2階の原ノ町運輸区において休憩できる認識である。

組合：我々とすれば追いやる認識である。現場で働く組合員・社員に配慮すること。

会社：限られた有効スペースを活用するのは1つの考えである。十分なスペースを確保している認識である。駅や乗務員区で働く社員については、丁寧に説明を行い、配慮する考えである。

確認事項 間内改良を行う際は、丁寧に説明を行い、配慮を行うこと。

③ 「いわき統括センター」と「原ノ町統括センター」を設置する根拠を明らかにすること。また、統括センターでの業務のイメージを明らかにすること。

組合：統括センターにすることでどのような変化があるのか明らかにすること。

会社：駅や乗務員、企画業務等を行えるようにしたいと考えている。まずは駅業務や乗務業務を担い、徐々に融合していく考えである。

組合：原ノ町駅で出改札の見習い業務を行う場合、1徹1日勤しかない。限られた人数の見習い業務を行うことになると予想する。

会社：規模で言えば原ノ町は小さいが、一方で企画業務を多く行うことが出来ると認識している。行路内の駅業務等を設けており、駅社員と一緒に仕事をするようになる。作業ダイヤの見習いを行う場合、対象者は絞られる。コミュニケーションを取り、把握する考えである。

組合：統括センターで仕事するイメージを組合員・社員に丁寧に説明すること。

会社：鉄道オペレーションを担い、浜通りエリア全体の課題解決や増収等、企画業務を行う考えである。